

## 分野:基礎病態学

主科目 副科目	医真菌学 Medical mycology	DM_1204	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	--------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他	
板橋	◎横村 浩一 大胡 惠樹 (医療共通研) 関水 和久 (医真菌)	山田 剛 (医真菌) 浜本 洋 (医真菌)	佐藤 一朗 (医療共通研) 松本 靖彦 (医真菌)	アレシヤフニムハンマドマハディ (医真菌研) 下山 陽也	長谷川 篤彦 山口 英世 西山 弥生 石岡 憲明	(客員教授) (客員教授) (客員教授) (AMR寄附講座・特任教授)
-						
-						

	医真菌学Ⅰ (1年次)				医真菌学Ⅱ (2年次)				医真菌学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	医真菌学的研究の基礎となる、病原真菌の基本的分類、生理・生化学、および分子生物学を学ぶ。また併せて、病原真菌によるヒト健康障害の概要を学ぶ。 実習としては、主要ヒト病原真菌の培養・同定等検査手法を習得する。				ヒトの健康を障害する、環境および常在真菌の管理について学ぶとともに、実験と実地演習を通してヒト並びに環境検体を用いた真菌検査とその解釈法を学ぶ。				環境および常在真菌による健康障害やその管理に関する基礎的および応用的実験技術を習得すると共に、臨床的・社会医学的に必要となる診断、治療および予防法を学ぶ。			
到達目標	ヒトの健康を障害する、環境および常在真菌について説明できる。医真菌学研究に必要な文献の検索を適正に遂行し、必要な情報を得ることができる。検索等によって得られたデータを客観的に正しく解釈し、適切な考察を加える事ができる。				人工的有人閉鎖施設をはじめとしたヒト生活環境において問題となりうる、環境および常在真菌の管理法(検出、診断、同定、除菌、治療、予防等)について説明できる。院内環境等の人工的有人施設をフィールドとし、医学・医療に寄与できる技術開発を立案できる。				研究内容を論文ならびに口頭で発表することができる。研究グループの一員として主導的役割を果たし、後進の指導を行うことができる。真菌による健康事象に対するコンサルテーションに対応できる。			
事前事後学修	1) 指定した文献・論文を読み、必要な議論が可能となるように準備しておくこと。 2) 必要な調査または実験データを結果としてまとめ、考察しておくこと。 3) 以上について、プレゼンテーションを準備しておくこと。 1回の授業あたり予復習各2時間が必要。				1) 指定した文献・論文を読み、必要な議論が可能となるように準備しておくこと。 2) 必要な調査または実験データを結果としてまとめ、考察しておくこと。 3) 以上について、プレゼンテーションを準備しておくこと。 1回の授業あたり予復習各2時間が必要。				1) 指定した文献・論文を読み、必要な議論が可能となるように準備しておくこと。 2) 必要な調査または実験データを結果としてまとめ、考察しておくこと。 3) 以上について、プレゼンテーションを準備しておくこと。 1回の授業あたり予復習各2時間が必要。			
評価方法	受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%				受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%				受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%			

## ■主な演習(講義・実習含む)

	医真菌学Ⅰ (1年次)	医真菌学Ⅱ (2年次)	医真菌学Ⅲ (3年次)
板橋	月 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 医真菌学特論Ⅰ	水 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 医真菌学特論Ⅰ	木 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 医真菌学特論Ⅰ
	月 曜日 10 : 00 ~ 12 : 00 医真菌学演習Ⅰ	水 曜日 10 : 00 ~ 12 : 00 医真菌学演習Ⅰ	木 曜日 10 : 00 ~ 12 : 00 医真菌学演習Ⅰ
	月 曜日 14 : 00 ~ 18 : 00 医真菌学実習Ⅰ	水 曜日 14 : 00 ~ 18 : 00 医真菌学実習Ⅰ	木 曜日 14 : 00 ~ 18 : 00 医真菌学実習Ⅰ
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

## 教科書・参考書

講義内で紹介

## その他履修上の注意事項

試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

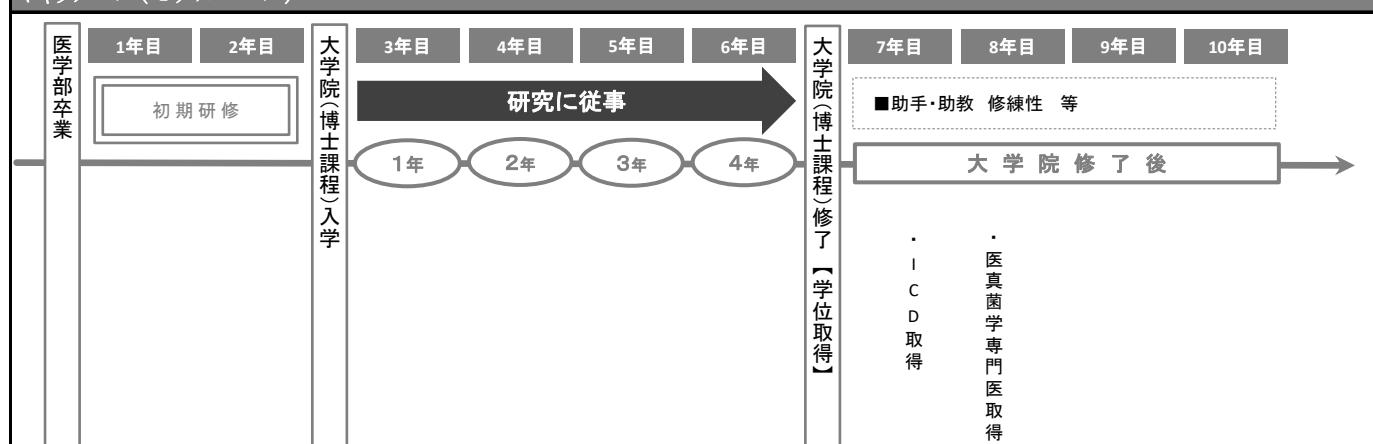
尚、本科目は、2011年開講以来「宇宙環境医学」として、主に板橋キャンパスにおける医真菌学研究を担って来たが、研究課題を明確にする目的により、本年度より医真菌研究を主とする本体を板橋キャンパスにおける「医真菌学」へ改組し、医真菌学に関連しない宇宙環境医学領域の研究・教育は、「宇宙環境医学」が担当することとなった。

関連科目	副科目	感染症学系、微生物学系、皮膚科学、内科学系、生理学系、人体病理学・病理診断学など関連領域を1科目以上、3か月コースまたは講義・演習コースにて履修する。
	共通科目	感染症学特論(谷康雄教授)、宇宙環境医学(槇村浩一教授)

## 関連する専門医資格

- ①医真菌学専門医(日本医真菌学会)
  - ②インフェクション・コントロール・ドクター(ICD;]感染症関連学会)
- その他

## キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。